

岩手県工業技術研究推進会議 生産技術部会議事録	(実施日) 平成16年10月29日(金)
----------------------------	-------------------------

(テーマ名) 新開発Co基合金の新産業への応用化技術開発 (中間評価)

委員	質問・意見	回答
B委員	はさみの材質はCoか？	従来製はステンレスが多い。ステライト製もある。
	Coは刃に使うのか、全体に使うのか？	全体に使う。
	値段は？	材料の値段がわからないため、何とも言えないが、材料費の占める割合はそれほど高くないことから、ステンレス製+20%ぐらいではないか。
C委員	切れ味を左右するパラメータは振動か？	振動であると考えているが、どのようなパラメータが影響しているか特定するのは今のところ難しい。
	実験で用いたナイロンの太さ0.2mmは何を想定しているのか？	髪の毛を想定している。ばらつきの範囲内ということで入手しやすい0.2mmのナイロンを使用。
G委員	振動を測定しているというがどのような部分を測定しているのか？	手に伝わる振動を測定している。(切れ味を比較した結果から、振動が重要であると考えている。)
B委員	機械工学的に何のパラメータがきくのか(荷重か？振動か？など)？	摩擦とか形状的な影響もあるかもしれない。さらに、測定と解析結果を検証しなくてはいけない。
D委員	Co材料の応用についてどのように進んでいるのか？	医療用器具への応用が検討されている。(岩手大学では体内に埋め込むものを、センターでは工業への応用を検討。)
F委員	実作業者のアンケートなどは実施しているのか？	実施している。
B委員	感性などについては以前センターで研究しているノウハウをこの研究に活かしてはどうか？	(副所長) 以前の研究は機械工学的なアプローチではないが、このような研究結果を活かそうに今後検討していきたい。
A委員	最終目標は医療用はさみへの応用か？	そのとおりである。